

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、大阪大学に会場をお借りして開催します。合計 30 名の研究者が個人研究発表を行いますので、ぜひ議論にご参加下さい。シンポジウムは、「共同行為の現象学—現象学と現代行為論の接点を探る」と題して行います。行為論研究で著名な古田徹也氏、現象学的社会学に造詣の深い木村正人氏、初期現象学の社会哲学を研究する植村玄輝氏をお招きし、ご提題いただきます。特別講演は、韓国現象学会の Tegu Joe 氏、北欧現象学会の Charlotta Weigelt 氏にお話し頂きます。二日目の午後には、英語で行われる公募ワークショップと、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップが開催されます。いずれも大変充実したプログラムとなっています。「現象学すること」にとどっぷり浸かれる二日間です。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。ご関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

プログラム

11 月 11 日 (土)

09:15-12:30 個人研究発表 (発表 30 分・質疑応答 15 分)

第 1 会場 (33 教室) 司会：谷委員・三村委員

09:15 満原健 (京都大学)

西田幾多郎によるフッサール批判—
『一般者の自覚的体系』期を中心に

10:05 竹中正太郎 (大谷大学)

人間科学と現象学

10:55 鈴木崇志 (日本学術振興会・立命館大学)

他者理解において移入されるもの

11:45 齋藤暢人 (中央学院大学)

フッサール基づけ理論の一般化

第 2 会場 (32 教室) 司会：井上委員・氣多委員

09:15 西村知絃 (大阪大学)

「ハイデガーにおける語りと言明

10:05 森永駿 (名古屋大学)

1923/24 年講演における「アレーテウエイン」概念

—初期ハイデガーの真理論研究—

10:55 君嶋泰明 (京都産業大学)

『存在と時間』の着想の謎について

11:45 丸山文隆 (東京大学)

『存在と時間』における現存在の自由について

第 3 会場 (31 教室) 司会：加國・中委員

09:15 赤坂辰太郎 (日本学術振興会・大阪大学)

前期サルトルにおける他者の出現

10:05 井上瞳 (大阪大学)

生の内側に立つ

—レヴィナスの「分離」概念を手掛かりに—

10:55 塩飽耕規 (医療法人遊心会 にじクリニック)

無限の臨末

—レヴィナスの無限概念について—

11:45 本間義啓 (日本学術振興会・大阪大学)

ロゴザンスキによる「出エジプト記」第三章の解釈

第 4 会場 (41 教室) 司会：和田・村上委員

10:05 小泉空 (大阪府立大学)

「居住」(demeurer) から「着用」(revêtir) へ

—ポール・ヴィリリオ『トーチカの考古学』を通して考
える、戦時における建てること、住まうこと—

10:55 渡辺亮 (名古屋大学)

メルロー＝ポンティ“視野としてのセザンヌの絵画

11:45 平岡紘 (日本学術振興会・明治大学)

引き裂かれた現在

—レヴィナスのフッサール『内的時間意識』の解釈を
めぐって—

12:30-13:50 昼休み・第 1 回委員会 (12 教室)

13:50-14:50 【特別講演】(キャノピーホール(本館 5 階))

"Michel Henry's material phenomenology"

Tegu Joe 氏 (Kyung-Hee University)

15:00-18:00 【シンポジウム】(キャノピーホール)

共同行為の現象学

—現象学と現代行為論の接点を探る—

提題者：古田徹也(専修大学)

木村正人(高千穂大学)

植村玄輝(岡山大学)

司会：河野哲也 (立教大学)

18:30-20:30 懇親会

会場：12 番教室

会費：学生・院生 (PDを含む)：2,500 円

常勤職：4,500 円

11 月 12 日 (日)

09:15-12:30 個人研究発表 (発表 30 分・質疑応答 15 分)

第 1 会場 (33 教室) 司会：村田委員・榊原委員

09:15 増田隼人 (東洋大学)

発生的現象学における類型と習慣の考察

10:05 綿引周 (東北大学)

「対象を欠いた表象のパラドクス」へのフッサールの初期
の応答について

10:55 峯尾幸之介 (早稲田大学)

効果・価値・意義

11:45 葛谷潤 (日本学術振興会・専修大学)

フッサールの知覚概念とダメットの検証主義

第 2 会場 (32 教室) 司会：安部・陶久委員

09:15 山下智弘 (慶應義塾大学)

ハイデガーと存在論的責任

10:05 高井寛 (東京大学)

ハイデガーの空間論

10:55 城田純平 (名古屋大学)

人間と動物との間の深淵をめぐるハイデガーの問い

11:45 横地徳広 (弘前大学)

ハイデガー『ソピステス』講義における「実践的推論」と
「知慮」の解釈について

第 3 会場 (31 教室) 司会：河野・小手川委員

09:15 大江倫子 (首都大学東京)

初期デリダにおけるハイデガーの遺産相続

—『ハイデガー』講義についての一考察—

10:05 鈴木康則 (慶應義塾大学)

初期デリダのレヴィナス批判における「自己性」と「差異」
の位相

10:55 新松寛明 (東京工業大学)

表現におけるスタイルと身体イメージ

11:45 岡嶋隆佑 (慶應義塾大学)

ベルクソン『物質と記憶』における「私の現在」の概念に
ついて

第4会場 (41 教室) 司会：浜渦委員

- 10:05 加藤浩士 (名古屋大学)
我々を形而上学へと導く無について
——「形而上学とは何か」解釈——
- 10:55 小平健太 (立教大学)
美学理論の解釈学的解体
——カント美学と解釈学における構想力の問題——
- 11:45 中山純一 (東洋大学)
引き裂かれた現在
——現象学者のへの抵抗について——
- 12:30-13:45 昼休み・第2回委員会 (12 教室)

13:45-14:15 総会 (キャノピーホール)

14:25-15:20 【特別講演】(キャノピーホール(本館5階))

"Phenomenology and the problem of causality"

Charlotta Weigelt 氏 (Sodertorn University)

15:20-17:50 【公募ワークショップ】(キャノピーホール)

Scientific Technology and Transformation of Humanity:

From a (Post) phenomenological Viewpoint

オーガナイザー・提題：Shoji Nagataki (Chukyo University)

提題者：Nicola Liberati (University of Twente)

Tetsuya Kono (Rikkyo University)

Kiyotaka Naoe (Tohoku University)

15:20-17:50【男女共同・若手研究者支援ワークショップ】

(33 教室)

現象学を(用いて) どう教えるか

——教育に関する情報と知見の組織的な共有に向けて

オーガナイザー：秋葉剛史 (千葉大学)

提題者：吉川孝 (高知県立大学)

陶久明日香 (成城大学)

小嶋恭道 (神戸大学／京都市立西京高等学校)

司会：小手川正二郎 (國學院大学)

【会員休憩室】44 教室

お知らせとお願い

- 1 会費納入 学会費 (年間 3,000 円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。大会会場でも受け付けます。
- 2 出欠の連絡 研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、10 月 31 日 (火) までに必ずお知らせください。

3 2016 年度決算報告 (2016.4.1～2017.3.31)

【歳入】		【歳出】	
歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥3,116,830	『年報』出版費	¥611,064
納入学会費	¥1,043,000	『年報』編集費	¥910
『年報』売上	¥7,2600	『年報』送料	¥44,470
普通預金利子	¥87	通信費	¥98,930
計①	¥4,232,517	企画・実行費	¥0
【次年度繰越金】	¥2,836,869	事務局経費	¥68,007
		研究大会開催費	¥160,758
		研究大会講師謝礼	¥20,000
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥307,000
		会員名簿作成費	¥54,000
		事務局移転費	¥31,088
		特別経費	¥1,265
		計②	¥1,397,492

第39回

研究大会

日時: 2017 年 11 月 11 日 (土)・12 日 (日)

会場: 大阪大学

(吹田キャンパス・人間科学研究科棟)

●大阪モノレール彩都線

阪大病院前駅下車 徒歩約 10 分

●近鉄バス

・阪急電鉄京都線茨木市駅より

「阪大本部前」(24 系統) 行き 約 30 分

・JR 東海道本線茨木駅より

「阪大本部前」(24 系統) 行き 約 20 分

※いずれも、バス停阪大医学部前下車 徒歩約 5 分、校舎

正面玄関のみ解錠しています。

入場料: 500 円 (会員・非会員の区別なし)

日本現象学会

事務局:

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 1 番 2 号

大阪大学人間科学研究科基礎人間科学講座現代思想研究室

Tel. 06-6879-8075

Email: paj-office@pa-j.jp

郵便振替 00980-9-109153

HP: <http://pa-j.jp/>